



平成29年3月に、文部科学省から新しい学習指導要領が示されました。全国の公立小・中学校では、平成30年度から段階的に新しい学習指導要領に基づいた教育に移行します。

新しい学習指導要領では、児童・生徒がこれからの時代を生きるために必要な力を身に付けることができるように、教育の内容が見直されます。例えば、小学校における外国語教育の充実などが求められるほか、「道徳の時間」が教科になります。その対応として、小平市立学校では、平成30年度から以下のことが変わりますので、お知らせいたします。

土曜授業日

- 年間5回から8回に増えます。
 - 主に第2土曜日に行います。
- ※学校の事情により変更することがあります。

学校公開日

- 10月末に一斉に実施していた学校公開週間の代わりに、学校ごとに年間5回以上の学校公開日を設定します。

道徳の教科化

- 全ての小学校で、「道徳の時間」が「道徳科」となり、教科書を使った授業を行います。
- 中学校は平成31年度から教科となります。

夏季休業中の学校休業日

- 小平市全体で2日間程度、完全に学校がお休みになります。土、日と同じように教職員はおりません。
 - 平成30年度は8月13日（月）と14日（火）です。
- ※学校の事情により変更することがあります。

外国語活動の時数の増加（小学校）

- 3年生と4年生は新たに年間35時間実施します。
 - 5年生と6年生はこれまでより35時間増加して、年間70時間実施します。
- ※学校の事情により変更することがあります。

<問い合わせ先>

小平市教育委員会教育部指導課

電話 042-346-9565